者の皆様は、彼に対して憤りを覚えるかもしれません。小生が思うのは、人間は誰でも過ちを犯す可能性があるということです。人はとても弱い存在で、自身にその気がなくても、時代の社会情勢、特に政治体制や為政者による教育や、それらが国民に及ぼす影響は計り知れないということです。私達日本人でさえ、嘗ての大日本帝国による負の遺産をいまだに解決することが難しいのですから。

カンボジアは、アキ・ラーさんの懸命な努力によって、随分地雷が少なくなったようです。しかし、まだ地雷が埋まっている所も存在するらしいので、油断はできないようです。

今回は、小生の個人的な考えも述べさせていただきました。誤解もあると思いますが、お付き合いいただき有難うございました。

では、また・・・。

顔なじみの地雷博物館受付のチャンディと萩森